brother

MyMio

# MFC-J615N
# ユーザーズガイド
## －応用編－

第1章
お好みで設定する

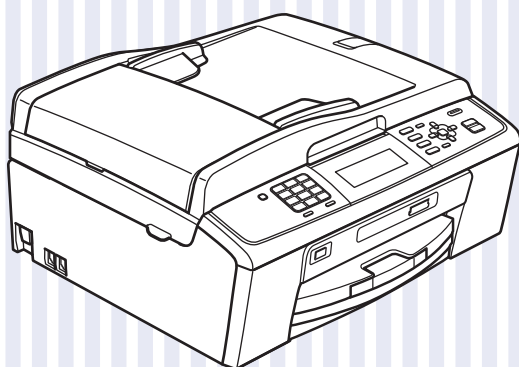
第2章
ファクス

第3章
電話帳

第4章
転送・リモコン機能

第5章
コピー

第6章
フォトメディアキャプチャ

付録（索引）

**困ったときは** 本製品の動作がおかしいとき、故障かな？と思ったときなどは、以下の手順で原因をお調べください。

**1** **ユーザーズガイド 基本編 第6章「こんなときは」で調べる**

▼

**2** サポート ブラザー 検索

**ブラザーのサポートサイトにアクセスして、最新の情報を調べる**
http://solutions.brother.co.jp/

オンラインユーザー登録をお勧めします。

**ブラザーマイポータル** ▶ https://myportal.brother.co.jp/

ご登録いただくと、製品をより快適にご使用いただくための情報をいち早くお届けします。

Version A JPN

# ユーザーズガイドの構成

本製品には次のユーザーズガイドが用意されています。目的に応じて各ユーザーズガイドをご活用ください。

■ はじめにお読みください

| | |
|---|---|
| **1. 安全にお使いいただくために（冊子）**<br>本製品を使用する上での注意事項や守っていただきたいことを記載しています。 |  |
| **2. かんたん設置ガイド（冊子）**<br>お買い上げ後、本製品を使用可能な状態にするまでの手順を説明しています。 |  |

■ 用途に応じてお読みください

| | |
|---|---|
| **3. ユーザーズガイド 基本編（冊子）**<br>本製品の基本的な使いかたと、困ったときの対処方法について詳しく説明しています。 | 付属 |
| **4. ユーザーズガイド 応用編（PDF 形式）**<br>基本編で使いかたを説明していない機能について詳しく説明しています。本製品が持つ便利で楽しい機能を最大限に使いこなしてください。 | <br>ユーザーズマニュアル CD-ROM の見かた<br>⇒ユーザーズガイド基本編「ユーザーズガイド CD-ROM 内のユーザーズガイドを見るときは」 |
| **5. ユーザーズガイド パソコン活用編（PDF 形式）**<br>本製品をパソコンとつないでプリンターやスキャナーとして使うときの操作方法や、付属の各種アプリケーションについて詳しく説明しています。 | |
| **6. ユーザーズガイド ネットワーク設定編（PDF 形式）**<br>本製品を手動でネットワークに接続するときの設定方法や、ネットワークに関して困ったときの対処方法を説明しています。 | |

■ 便利にお使いください

| | |
|---|---|
|  **画面で見るマニュアル（HTML 形式）**<br>上記のうち、3 ～ 6 のユーザーズガイドを一体化して、パソコンの画面上で見られるようにしたマニュアルです。参照先が書かれたところをクリックするとその掲載箇所に直接飛ぶため、冊子のページをめくったり別のガイドで探したりすることなく、知りたい情報をすぐに確認することができます。 |  |

上記はすべて、最新版がサポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からもダウンロードできます。http://solutions.brother.co.jp/

# 最新のドライバーやファームウェア（本体ソフトウェア）を入手するときは？

弊社ではソフトウェアの改善を継続的に行なっております。
最新のドライバーに入れ替えると、パソコンの新しい OS に対応したり、印刷やスキャンなどの際のトラブルを解決できることがあります。また、本体のトラブルは、ファームウェア（本体ソフトウェア）を新しくすることで解決できることがあります。
最新のドライバーやファームウェアは、弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードしてください。ダウンロードやインストールの手順についても、サポートサイトに掲載されています。http://solutions.brother.co.jp/
ダウンロードを始める前に、まず、ユーザーズガイド 基本編 第 6 章「最新のドライバーやファームウェアをサポートサイトからダウンロードして使うときは」をご覧ください。

# 目次

# 本書のみかた

## 本書で使用されている記号

本書では、下記の記号が使われています。

| | |
|---|---|
| 注意 | お使いいただく上での注意事項、制限事項などを記載しています。 |
| | 知っていると便利なことや、補足を記載しています。 |

注意

■ 本書に掲載されている画面は、実際の画面と異なることがあります。

# 編集ならびに出版における通告

# 第１章

# お好みで設定する

## お好みで設定してください



## オプションサービス

# 画面の設定を変更する

お好みで設定してください

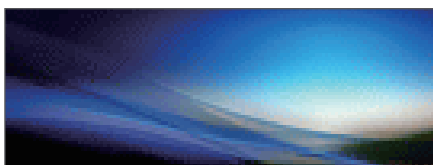
本製品の画面の設定を変更します。

**1** メニュー を押し、▲/▼ で【基本設定】を選び、OK を押す

**2** ▲/▼ で【画面の設定】を選び、OK を押す

**3** ▲/▼ で設定したい項目を選ぶ

- 【画面の明るさ】
  画面の明るさを調整します。
- 【照明ダウンタイマー】
  画面のバックライトを暗くするまでの時間を設定します。(暗くなっても画面の表示は確認できます。)
- 【壁紙選択】
  待ち受け画面のデザインを変更します。以下の 4 種類から選べます。

- 1

- 2

- 3

- 4

**4** 設定を変更する

**A）壁紙選択以外の場合**

(1) ◀/▶ で設定を選び、OK を押す

- 画面の明るさ
  【明るく／標準／暗く】
- 照明ダウンタイマー
  【切／ 10 秒／ 20 秒／ 30 秒】

**B）壁紙選択の場合**

(1) OK を押す

(2) ▲/▼ で設定を選び、OK を押す

**5** 停止/終了 を押す

設定を終了します。

# ファクスモードに戻る時間を設定する

各モードで操作したあと、自動的にファクスモードに戻る時間を設定できます。【切】を選ぶと、最後に使ったモードを維持します。お買い上げ時は【2 分】に設定されています。

**1** **メニュー を押し、▲/▼ で【基本設定】を選び、OK を押す**

**2** **▲/▼ で【モードタイマー】を選ぶ**

**3** **◀/▶ で、ファクスモードに戻る時間を選び、OK を押す**

【切／ 0 秒／ 30 秒／ 1 分／ 2 分／ 5 分】から選びます。

> 【0 秒】を選んだ場合は、各モードでの操作が完了すると、すぐにファクスモードに戻ります。

**4** **停止/終了 を押す**

設定を終了します。

# ナンバー・ディスプレイサービスを利用する　オプションサービス

本製品では、電話会社（NTT など）との契約によって「ナンバー・ディスプレイサービス」をご利用いただくことができます。本製品で利用できる機能は、以下のとおりです。

| 電話番号表示機能 | 名前表示機能 | 着信履歴機能 |
|---|---|---|
| 電話がかかってくると、相手の電話番号が画面に表示されます。 | 電話帳に登録してある相手から電話がかかってくると、相手の名前が画面に表示されます。 | ナンバー・ディスプレイの設定を【あり】にした場合、かかってきた電話番号を記録します。着信記録から電話帳に登録したり、着信履歴リストを印刷することができます。 |

**注意**

- 本製品の設定だけでは、「ナンバー・ディスプレイサービス」は利用できません。ご利用の電話会社との契約（有料）が必要です。契約していない場合は、【なし】にしてください。
- ISDN 回線を利用しているときは、ナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプターまたはダイヤルアップルーターの設定が必要です。
- 構内交換機（PBX）に接続しているときは、構内交換機（PBX）がナンバー・ディスプレイに対応していなければ利用できません。
- ブランチ接続（並列接続）をしているときは、ナンバー・ディスプレイが正常に動作しません。
- 電話回線にガス検針器やセキュリティ装置などが接続されている場合は、誤動作することがあります。
- ナンバー・ディスプレイは、複数台の装置に表示することはできません。外付け電話を接続して本製品でナンバー・ディスプレイを使用する場合は、外付け電話のナンバー・ディスプレイの設定を「Off」にしてください。ただし、本製品の設定により、外付け電話の番号表示を優先させることは可能です。
- 外付け電話でナンバー・ディスプレイ機能を使用する場合、受信モードを【F/T= 自動切換え】に設定していると再呼出音が鳴り始めてからは、画面に番号表示されません。

**1** **メニュー を押し、▲/▼ で【初期設定】を選び、OK を押す**

**2** **▲/▼ で【ナンバーディスプレイ】を選ぶ**

**3** **◀/▶ でナンバー・ディスプレイの設定を選び、OK を押す**

設定は以下から選びます。

- 【あり】
  本製品の画面に相手の電話番号が表示されます。
- 【なし】
  ナンバー・ディスプレイ機能を使用しません。
- 【外付け電話優先】
  本製品と接続している電話機に相手の電話番号が表示されます。

**4** **停止/終了 を押す**

設定を終了します。

# ネーム・ディスプレイサービスを利用する

ネーム・ディスプレイはNTTが行っているサービスです。本製品の電話帳に登録していなくても、電話がかかってきたときに相手の名前、電話番号が画面に表示されます。サービスの詳細についてはNTT（116：無料）にお問い合わせください。
ネーム・ディスプレイサービスを利用する場合は、ナンバー・ディスプレイの設定を【あり】にしてください。
⇒6ページ「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」

- ひかり電話では、ネーム・ディスプレイサービスを契約することができません。
- お客様がご利用されている電話会社がNTT東日本、NTT西日本以外の場合は、ネーム・ディスプレイサービスを契約することができません。付加サービスの詳細は、ご利用の電話会社にお問い合わせください。
- IP電話（050番号）への着信には「発信者名」を表示させることはできません。

かける人

❶相手の電話番号をダイヤル

❷発信者番号と「発信者名」を通知

受ける人

❸発信電話番号とともに「発信者名」を表示

電話をかけるときに、「発信者名」が発信電話番号とともに相手の電話機に表示されるので、安心して電話に出てもらえます。

ご自分の「発信者名」を通知するには

NTT東日本・NTT西日本にお申し込みください。費用はかかりません。

電話に出る前に、かけてきた相手の「発信者名」が発信電話番号とともに、電話機に表示されるので、安心して電話に出ることができます。

「発信者名」をご自分の電話機に表示させるには

「ネーム・ディスプレイ」、「ナンバー・ディスプレイ」のご契約が必要です。NTT東日本・NTT西日本にお申し込みください。

| ● 提供地域 | ● 発信者名を表示する通話 | ● 表示される文字 |
|---|---|---|
| 全国（NTT東日本、NTT西日本のサービス提供地域）<br>※一部交換機の種類などにより提供できない地域があります。 | NTT東日本およびNTT西日本の加入電話回線から発信され、発信者名を通知する通話について発信者名を通知します。なお、発信者のお客様が「マイライン」でどの会社を選択されていても発信者名を表示します。 | 10文字以内の漢字などで発信者名が表示されます。 |

● 料金

月額使用料：住宅用、事務用とも105円（INSネット1500については1,050円）
別に、「ナンバー・ディスプレイ」のご契約が必要です。
（参考）ナンバー・ディスプレイ料金（2009年5月1日現在）

- 月額使用料
  加入電話、ライトプラン：420円（住宅用）、1,260円（事務用）
  INSネット64、INSネット64ライト：630円（住宅用）、1,890円（事務用）
  INSネット1500：18,900円
- 工事料：2,100円

お申し込み・お問い合わせは

局番なしの「116：無料」
受付時間 9:00 ～ 21:00
（年末年始を除き、土日・祝日も営業しております）

# 第２章

# ファクス

応用



通信管理

# ファクスの便利な送りかた

応用

## 発信履歴・着信履歴を使ってファクスを送る

[発信履歴 / 着信履歴]

最近ダイヤルした相手先にファクスを送る場合は、発信履歴を利用します。また、ナンバー・ディスプレイサービスをご利用の場合は、着信履歴からファクスを送ることができます。

**注意**

■「ナンバーディスプレイ」をご利用いただくには、ご利用の電話会社との契約が必要です。
⇒ 6 ページ「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」

**1 原稿をセットする**

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「原稿をセットする」

**2 ファクス を押す**

ファクスモードに切り替わります。

履歴/ポーズ を押しても発信履歴・着信履歴を選べます。
⇒手順 4 へ

**3 ▲/▼ で【発信履歴】または【着信履歴】を選び、OK を押す**

**4 ▲/▼ でファクスを送る相手先を選び、OK を押す**

**5 ▲/▼ で【ファクス送信】を選び、OK を押す**

**6 モノクロで送るときは モノクロスタート を、カラーで送るときは カラースタート を押す**

ファクスが送られます。

**発信履歴や着信履歴を削除する**

(1) 「発信履歴・着信履歴を使ってファクスを送る」の手順 2、3 の操作を行う

(2) ▲/▼ で削除する相手先を選び、OK を押す

(3) ▲/▼ で【消去】を選び、OK を押す
◆【消去しますか ? ／はい⇒ 1 を押してください／いいえ⇒ 2 を押してください】と表示されます。

(4) 1 を押す
◆選んだ番号が消去されます。

(5) 停止/終了 を押す

# 相手先の受信音を確認してから送る

**［手動送信］**

相手の受信音を確認してからファクスを送ります。

**注意**

■「手動送信」の場合、原稿台ガラスに原稿をセットすると、一度に複数枚のファクスを送ることはできません。（1 回に送ることができるのは 1 枚のみです。）

### 1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「原稿をセットする」

### 2 ファクス を押す

### 3 オンフック を押した後、相手のファクス番号をダイヤルする

### 4 相手の受信音（ピー音）を確認して、モノクロスタート または カラースタート を押す

ADF に原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、ファクスが送られます。

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、画面に【ファクスしますか ？ ／送信 ⇒ 1 を押してください／受信 ⇒ 2 を押してください】と表示されます。⇒手順 5 へ

### 5 1 【送信】を押す

原稿の読み取りが開始され、ファクスが送られます。

ファクスの送信が終わると、回線が自動的に切れます。

**送るのをやめるときは**

(1) 停止/終了 を押す

◆【キャンセル／はい⇒ 1 を押してください／いいえ⇒ 2 を押してください】と表示されます。

(2) 1 を押す

◆ファクスの送信が中止されます。

# 内容を確認してからファクスを送る

［みてから送信］

送信する前に、画面でファクスの内容を確認できます。

注意

■ みてから送信を行うときは､「リアルタイム送信」と「ポーリング受信」を【しない】に設定してください。
⇒ 15 ページ「原稿をすぐに送る」
⇒ 20 ページ「本製品の操作で相手の原稿を受ける」

■ みてから送信を行うときは、カラーファクス送信はできません。

## 1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「原稿をセットする」

注意

■ 原稿台カバーは必ず閉じてください｡開けたままファクスを送ると､画像が黒くなることがあります。

## 2 ファクス を押し、▲/▼ で【みてから送信】を選ぶ

## 3 ◀/▶ で【する】を選び、OK を押す

## 4 相手先のファクス番号をダイヤルして、モノクロスタート を押す

1 枚目の原稿の読み取りが開始されます。読み取りが終わると､【次の原稿はありますか？／はい ⇒ 1 を押してください／いいえ（送信）⇒ 2 を押してください】と表示されます。

- 2 枚目の原稿がある場合 ⇒ 手順 5 へ
- これで送信する場合 ⇒手順 6 へ

## 5 1 を押し、2 枚目の原稿をセットして、OK を押す

3 枚以上原稿がある場合は、この手順を繰り返します。

## 6 すべての読み込みを終えたら 2 を押す

画面に､これから送るファクスの内容が表示されます。

## 7 画面で、ファクスの内容を確認する

以下のボタンが使用できます。

| ボタン | 操作内容 |
|---|---|
| ＊ | 拡大表示します。 |
| ＃ | 縮小表示します。 |
| ▲/▼ | 縦方向にスクロールします。 |
| ◀/▶ | 横方向にスクロールします。 |
| 0 | 90° ずつ右回転します。 |
| 7 | 前のページを表示します。 |
| 9 | 次のページを表示します。 |

### A）ファクスを送る場合

## 8 モノクロスタート を押す

ファクスが送られます。

### B）ファクス送信を中止する場合

## 8 停止/終了 を押す

画面に【キャンセル／はい ⇒ 1 を押してください／いいえ ⇒2を押してください】と表示されます。

## 9 1 を押す

送信が中止されます。

# 時間を指定して送る

**［タイマー送信］**

24 時間以内の指定した時刻にファクスを送信します。通信料の安い時間に送ることで、通信料を節約できます。タイマー送信は、50 件まで登録できます。

**注意**

■ タイマー送信のときは、モノクロで送信されます。（カラーでの送信はできません。）
■ タイマー送信できる原稿枚数は、原稿の内容によって異なります。

## 1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「原稿をセットする」

## 2 ファクス を押し、▲/▼ で【タイマー送信】を選ぶ

## 3 ◀/▶ で【する】を選び、OK を押す

送信時刻を入力する画面が表示されます。

## 4 送信時刻を入力し、OK を押す

送信時刻は、24 時間制で入力します。

例） 午後 3 時 5 分の場合は、「1505」と入力します。

画質など、他の設定も変更する場合は、続けて ▲/▼ で項目を選び、◀/▶ で設定を選びます。
⇒ユーザーズガイド 基本編 第 2 章「画質や濃度を変更する」

## 5 相手先のファクス番号をダイヤルして、モノクロスタート を押す

ADF に原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、設定が終了します。

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、画面に【次の原稿はありますか？／はい⇒ 1 を押してください／いいえ（送信）⇒ 2 を押してください】と表示されます。

送る原稿が 1 枚の場合⇒手順 7 へ

送る原稿が複数枚の場合⇒手順 6 へ

## 6 1 を押し、原稿台ガラスに次の原稿をセットして OK を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまで、この手順を繰り返します。

## 7 2 または モノクロスタート を押す

操作を終了します。

読み取った原稿が、指定した時刻に送られます。

相手が話し中などで送信できないときは、5 分おきに 3 回まで再ダイヤルします。

タイマー送信が終了すると、自動的にタイマー送信レポートが印刷され、送信結果を確認できます。

# 同じ相手への原稿をまとめて送る

［とりまとめ送信］

タイマー送信を複数設定している場合、相手先の番号と送信時刻が同じものは、1 回の通信でまとめて送るように設定できます。まとめて送ることで、通信料を節約できます。

**注意**

- とりまとめ送信のときは、モノクロで送信されます。（カラーでの送信はできません。）
- とりまとめ送信のときは、同じダイヤル方法でダイヤルしてください。

**1** ファクス を押し、▲/▼ で【とりまとめ送信】を選ぶ

**2** ◀/▶ で【する】を選び、OK を押す

設定は、【する／しない】から選びます。

**3** 停止/終了 を押す

設定を終了します。

# 原稿をすぐに送る

**[リアルタイム送信]**

すぐに相手先にダイヤルし、原稿を読み取りながら送ります。ファクスを急いで送りたいとき、送信状況を確認しながら送信したいときに便利です。
メモリーに送信待ち原稿があるときでも、優先して原稿を送ることができます。お買い上げ時は【しない】に設定されています。
ここで変更した設定は、ファクスの送信が終わると元に戻ります。設定を保持することもできます。
⇒ユーザーズガイド 基本編 第 2 章「変更した設定を保持する」

**注意**

■ リアルタイム送信で指定できる相手先は 1 件です。複数の相手先に 1 回の操作で同じ原稿を送ることはできません。
■ ファクスをカラーで送ると、この設定をしなくても常にリアルタイムで送信されます。
■ リアルタイム送信では、原稿を原稿台ガラスにセットした場合、相手が通話中であれば自動再ダイヤルを行いません。

## 1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「原稿をセットする」

## 2 ファクスを押し、▲/▼で【リアルタイム送信】を選ぶ

## 3 ◀/▶で設定を選び、OKを押す

設定は【する／しない】から選びます。

- 【する】：
  リアルタイム送信で送ります。
- 【しない】：
  通常の送信で送ります。

画質など、他の設定も変更する場合は、続けて ▲/▼ で項目を選び、◀/▶ で設定を選びます。

## 4 相手のファクス番号をダイヤルして、モノクロで送るときは モノクロスタート を、カラーで送るときは カラースタート を押す

原稿の読み取りが開始され、ファクスが送られます。

本製品は通常、読み取った原稿をメモリーに蓄積してから送信する「メモリー送信」を行っていますが、リアルタイム送信を行うと、原稿はメモリーに蓄積されません。

# 相手の操作で原稿を送る

**[ポーリング送信]**

本製品に原稿を登録しておくと、ポーリング機能のある他のファクシミリはその原稿を自由に取り出すことができます。これを「ポーリング送信」といいます。
また、受信側と送信側が同じパスワードを使用することによって、パスワードを知っている人だけが原稿を受け取れる「機密ポーリング送信」を行うこともできます。

機密ポーリング送信は、相手側のファクシミリもブラザー製の場合のみ行えます。

**注意**

- 相手側のファクシミリにポーリング機能がない場合は、この機能が利用できないことがあります。
- ポーリング送信のときは、モノクロで送信されます。（カラーでの送信はできません。）
- ポーリング通信の場合、通信料は受信側の負担となります。

## 1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「原稿をセットする」

## 2 ファクス を押し、▲/▼ で【ポーリング送信】を選ぶ

## 3 ◀/▶ で【標準】または【機密】を選び、OK を押す

## 4 【機密】を選んだ場合は、4 桁のパスワードを入力して、OK を押す

画質など、他の設定も変更する場合は、続けて ▲/▼ で項目を選び ◀/▶ で設定を選びます。
⇒ユーザーズガイド 基本編 第 2 章「画質や濃度を変更する」

## 5 モノクロスタート を押す

ADF に原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、設定が終了します。
原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、画面に【次の原稿はありますか ？ ／はい⇒ 1 を押してください／いいえ（送信）⇒ 2 を押してください】と表示されます。
送る原稿が 1 枚の場合⇒手順 7 へ
送る原稿が複数枚の場合⇒手順 6 へ

## 6 1 を押し、原稿台ガラスに次の原稿をセットして OK を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまで、この手順を繰り返します。

## 7 2 または モノクロスタート を押す

原稿を読み取り、メモリーに蓄積します。

ポーリング送信が終了すると、自動的に「ポーリングレポート」が印刷され、送信結果を知らせてくれます。

ポーリング送信を解除したいときは、メニュー から【ファクス】OK【通信待ち一覧】を選んで解除します。
⇒ユーザーズガイド 基本編 第 2 章「送信待ちファクスを確認・解除する」

## 海外へ送る

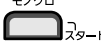
**［海外送信モード］**

海外へ送信するときは、回線の状況によって正常に送信できないことがあります。このときは海外送信を【する】に設定すると通信エラーを少なくできます。
海外送信モードは送信が終了すると自動的に【しない】に戻ります。

**1 原稿をセットする**

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「原稿をセットする」

**2 ファクス を押し、▲/▼ で【海外送信モード】を選ぶ**

**3 ◀/▶ で【する】を選び、OK を押す**

画質など、他の設定も変更する場合は、続けて ▲/▼ で項目を選び、◀/▶ で設定を選びます。
⇒ユーザーズガイド 基本編 第 2 章「画質や濃度を変更する」

**4 相手先のファクス番号をダイヤルして、モノクロスタート または カラースタート を押す**

ADF に原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、設定が終了します。
原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、画面に【次の原稿はありますか ？ ／はい⇒ 1 を押してください／いいえ（送信）⇒ 2 を押してください】と表示されます。
送る原稿が 1 枚の場合⇒手順 6 へ
送る原稿が複数枚の場合⇒手順 5 へ

**5 1 を押し、原稿台ガラスに次の原稿をセットして OK を押す**

送りたい原稿をすべて読み取るまで、この手順を繰り返します。

**6 2 または モノクロスタート または カラースタート を押す**

ファクスが送られます。

# ファクスの便利な受けかた

## 自動的に縮小して受ける

［自動縮小］

【自動縮小】は、記録紙トレイにセットしてある記録紙の長さを超えたファクスが送られてきた場合に、自動的に縮小して受信する機能です。

**1** メニュー を押し、▲/▼ で【ファクス】を選び、OK を押す

**2** ▲/▼ で【受信設定】を選び、OK を押す

**3** ▲/▼ で【自動縮小】を選ぶ

**4** ◀/▶ で【する】を選び、OK を押す

設定は【する／しない】から選びます。

- 【する】：
  自動縮小受信します。記録紙トレイにセットしてある記録紙に対し、長辺が長いファクスが送られてきた場合に縮小して受信します。短辺が長いファクスが送られてきた場合は、この設定に関わらず縮小されます。
- 【しない】：
  自動縮小受信しません。記録紙トレイにセットしてある記録紙に対し、短辺が長いファクスが送られてきた場合のみ縮小します。長辺が長いファクスは、複数枚に分割されます。

**5** 停止/終了 を押す

設定を終了します。

自動縮小を【しない】に設定し、原稿の長さが約 420mm 以上のときは、縮小せず等倍のままで複数枚の記録紙に分割して印刷します。

# 本製品と接続している電話機の操作でファクスを受信する

［リモート受信］

親切受信の設定が【しない】の場合や、親切受信がうまくはたらかない場合は、本製品と接続している電話機から本製品を操作してファクスを受信できます。これを「リモート受信」といいます。

## リモート受信を設定する

リモート受信を使用するときは、リモート受信設定を【する】にします。（お買い上げ時は【しない】に設定されています。）また、リモート起動番号を変更することもできます。

**1 メニューを押し、▲/▼で【ファクス】を選び、OKを押す**

**2 ▲/▼で【受信設定】を選び、OKを押す**

**3 ▲/▼で【リモート受信】を選ぶ**

**4 ◀/▶で【する】を選び、OKを押す**

リモート起動番号が表示されます。

- リモート起動番号を変更するときは、ダイヤルボタンで上書きします。
- リモート起動番号を変更するときは、2桁の数字部分を変更してください。3桁すべてを数字に変更すると、本製品と接続している電話機から特定の相手に電話がかけられなくなります。

**5 OKを押す**

**6 停止/終了を押す**

設定を終了します。

## リモート受信の操作のしかた

**1 本製品と接続している電話機の受話器をとる**

**2 本製品と接続している電話機の受話器を持ったまま、# 5 1 を押す**

「#51」は、リモート起動番号です。

**3 約5秒後に、受話器を戻す**

ファクスの受信が始まります。

注意

■ ダイヤル回線（20PPS、10PPS）に設定されている環境でリモート受信を行うときは、電話機のトーンボタンを押して、トーン（プッシュ）信号に切り替えてから、リモート起動番号を入力してください。

- リモート起動番号とは、本製品の外付け電話端子に接続されている電話機から、本製品をリモート受信させるときに使用する番号です。お買い上げ時は「#51」に設定されています。
- この機能は、電話機の種類や地域の諸条件により、使用できないことがあります。

# 本製品の操作で相手の原稿を受ける

**［ポーリング受信］**

本製品から操作して、相手側のファクシミリにセットされた原稿を受けます。（これを「ポーリング受信」といいます。）
ファクス情報サービスなどから情報を受けるときに使用します。ポーリング受信をする時刻を指定したり、パスワードが設定されている「機密ポーリング受信」も行えます。

機密ポーリング受信は、相手側のファクシミリもブラザー製の場合のみ行えます。

**注意**

- 相手先のファクシミリにポーリング機能がない場合は、この機能が利用できないことがあります。
- ポーリング受信のときは、モノクロで受信されます。（カラーでの受信はできません。）
- ポーリング通信の場合、通信料は受信側の負担となります。
- 相手側のファクシミリがポーリング送信の準備をしていないときは、受信できません。

## ポーリング受信をする

**1 ファクス を押し、▲/▼ で【ポーリング受信】を選ぶ**

**2 ◀/▶ で設定を選び、OK を押す**

- 【標準】：
  通常のポーリング受信を行う場合に選びます。
- 【機密】：
  パスワードが設定されている場合に選びます。
- 【タイマー】：
  ポーリング受信を行う時刻を設定する場合に選びます。
- 【しない】：
  ポーリング受信を行いません。

**3 （【機密】を選んだ場合）4 桁のパスワードを入力して、OK を押す**

**（【タイマー】を選んだ場合）受信時刻を入力して、OK を押す**

時刻は 24 時間制で入力します。

例）午後 3 時 5 分の場合は、「1505」

**4 相手先のファクス番号をダイヤルし、モノクロスタート を押す**

相手先のファクス番号を電話帳から選ぶこともできます。

ファクスを受信します。

本製品では、各種のファクス情報サービスを利用できます。ファクス情報サービスにはガイダンス方式（音声が聞こえるもの）とポーリング方式（ピーと音がするもの）があります。各種サービスに合わせて操作してください。

ダイヤル回線をお使いのお客様は、情報サービスの暗証番号などを電話帳に登録する場合、登録する暗証番号の前に ＊トーン を入力してください。

タイマーポーリング受信をキャンセルするには、メニュー【ファクス】【通信待ち一覧】からキャンセルしたい設定を選びます。

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 2 章「送信待ちファクスを確認・解除する」

## 複数の相手先からポーリング受信をする

複数の相手先からポーリング受信をすることを「順次ポーリング」といいます。
順次ポーリングでは、1 回の操作で、複数の相手先のファクシミリにセットされた原稿を受けることができます。

**1** **ファクス を押し、▲/▼ で【ポーリング受信】を選ぶ**

**2** **◀/▶ で設定を選び、OK を押す**

- 【標準】：
  通常のポーリング受信を行う場合に選びます。
- 【機密】：
  パスワードが設定されている場合に選びます。
- 【タイマー】：
  ポーリング受信を行う時刻を設定する場合に選びます。
- 【しない】：
  ポーリング受信を行いません。

**3** **（【機密】を選んだ場合）4 桁のパスワードを入力して、OK を押す**

**（【タイマー】を選んだ場合）受信時刻を入力して、OK を押す**

時刻は 24 時間制で入力します。
例）午後 3 時 5 分の場合は、「1505」

**4** **▲/▼ で【同報送信】を選び、OK を押す**

**5** **▲/▼ で【番号追加】または【電話帳検索】を選ぶ**

**6** **【番号追加】を選んだ場合は、相手先のファクス番号をダイヤルして、OK を押す**

**【電話帳検索】を選んだ場合は、OK を押して電話帳から相手先を選び、OK を押す**

> グループダイヤルで相手先を指定するには、事前にグループダイヤルを設定する必要があります。
> ⇒31 ページ「グループダイヤルを登録する」

**7** **手順 5、6 と同様に 2 件目以降の相手先を指定する**

**8** **すべての相手先を選び終わったら、▲/▼ で【確定】を選び、OK を押す**

**9** **モノクロスタート を押す**

ファクスを受信します。
すべての相手先からの受信が終わると、自動的に「順次ポーリング受信レポート」が印刷されます。

> 順次ポーリング受信を個別にキャンセルするには、ダイヤル中に 停止/終了 を押します。
> 順次ポーリング受信をすべてキャンセルするには、メニュー【ファクス】【通信待ち一覧】からキャンセルしたい設定を選びます。
> ⇒ユーザーズガイド 基本編 第 2 章「送信待ちファクスを確認・解除する」

# ファクスを転送する

**[ファクス転送]**

受信したファクスを別のファクシミリに転送します。お買い上げ時は、ファクス転送は設定されていません。

**注意**

■「ファクス転送」の設定前に受信済みのファクスは転送できません。
■「みるだけ受信」と「ファクス転送」を同時に設定している場合は、本製品にファクスの受信データは残らず、転送先に送信されます。「ファクス転送」で「本体でも印刷する」を設定していても印刷されません。
■「ファクス転送」を設定していても、カラーファクスは転送されずに自動的に印刷されます。
■「ファクス転送」は、「電話呼び出し」、「メモリ保持のみ」、「PCファクス受信」と同時に設定することはできません。

**1** メニューを押し、▲/▼で【ファクス】を選び、OKを押す

**2** ▲/▼で【受信設定】を選び、OKを押す

**3** ▲/▼で【メモリー受信】を選び、OKを押す

**4** ▲/▼で【ファクス転送】を選び、OKを押す

**5** ダイヤルボタンで転送先のファクス番号を入力し、OKを押す

すでに転送先のファクス番号が登録されている場合は、登録済みのファクス番号が表示されます。
転送先のファクス番号を変更する場合は▲/▼で【変更する】を選び、OKを押します。

「みるだけ受信」が設定されている場合、受信したファクスは印刷されません。
⇒手順 7 へ
「みるだけ受信」が設定されていない場合
⇒手順 6 へ

**6** ▲/▼で本製品で印刷するかしないかを選び、OKを押す

- 【本体でも印刷する】:
  受信したファクスを転送すると同時に、本製品で印刷します。
- 【本体では印刷しない】:
  受信したファクスを転送するだけで、本製品で印刷しません。

**7** 停止/終了を押す

設定を終了します。

転送先のファクシミリが通話中のときは、自動的に 5 分おきに 3 回まで再ダイヤルされます。

ファクス転送が終了すると、メモリーに保存されたファクスは自動的に消去されます。

# 受信したファクスをパソコンに送る

**[PC ファクス受信]**

受信したファクスメッセージを本製品と接続しているパソコンに転送できます。パソコンと接続されていない場合は、受信したファクスメッセージをメモリーに記憶し、パソコンに接続したときにまとめて転送します。パソコンでファクスメッセージを受信したあと、ファクスメッセージは本製品のメモリーから消去されます。

**注意**

- カラーファクスはパソコンに転送されずに本製品で自動的に印刷されます。
- 「PC ファクス受信」は、「ファクス転送」、「電話呼び出し」、「メモリ保持のみ」と同時に設定することはできません。
- 「PC ファクス受信」は Windows® でのみ使用できます。
- 「みるだけ受信」を設定している場合は、【本体でも印刷する】を設定していても印刷されません。

**1** メニュー を押し、▲/▼ で【ファクス】を選び、OK を押す

**2** ▲/▼ で【受信設定】を選び、OK を押す

**3** ▲/▼ で【メモリー受信】を選び、OK を押す

**4** ▲/▼ で【PCファクス受信】を選び、OK を押す

**5** メッセージを確認して、OK を押す

パソコンの「PC-FAX 受信」を起動させてください。起動方法について詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「PC-FAX 受信を起動する」

**6** PC-FAX 受信を起動させたパソコンを、本製品の画面から ▲/▼ で選び、OK を押す

USB 接続しているパソコンを選ぶ場合は、< USB >を選びます。

ネットワーク接続しているパソコンを選ぶ場合は、接続先のパソコンの名前を選びます。

**注意**

- このとき、PC-FAX 受信が起動しているパソコンしか選択できません。

「みるだけ受信」が設定されている場合、受信したファクスは印刷されません。⇒手順 8 へ

「みるだけ受信」が設定されていない場合⇒手順 7 へ

**7** ▲/▼ で本製品で印刷するかしないかを選び、OK を押す

- 【本体でも印刷する】：
  受信したファクスを転送すると同時に、本製品で印刷します。
- 【本体では印刷しない】：
  受信したファクスを転送するだけで、本製品で印刷しません。

## 8 停止/終了 を押す

設定を終了します。

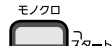
- パソコンで受信したファクスを確認・印刷する方法については、下記をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「パソコンでファクスを受信する」

- 手順 7 で【本体では印刷しない】に設定して、パソコンからファクスを取り出さないまま【オフ】にすると【すべてのファクスをプリントしますか？／はい ⇒ 1 を押してください／いいえ ⇒ 2 を押してください】と表示されます。設定を解除しないでファクスの内容をメモリーに残しておくときは、2 を押してください。1 を押すとメモリーに記憶されているファクスが印刷されます。

- 手順 7 で【本体でも印刷する】を設定しておくと、ファクスのデータがパソコンに転送される前に電源トラブルなどが起きても、印刷された状態でファクスを受け取ることができます。

# 通信状態を確かめる

通信管理

## 通信管理レポートを印刷する

[通信管理レポート]

最近送受信した 200 件分の通信結果を印刷します。お買い上げ時は、50 件ごとに印刷する設定になっています。

注意

■ 通信管理レポートは、モノクロでしか印刷できません。

### すぐに印刷するとき

**1 記録紙をセットする**

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「記録紙トレイにセットする」

**2 メニュー を押し、▲/▼ で【レポート印刷】を選び、OK を押す**

**3 ▲/▼ で【通信管理レポート】を選び、OK を押す**

**4 モノクロスタート を押す**

通信管理レポートが印刷されます。

**5 印刷が終了したら、停止/終了 を押す**

### 定期的に印刷するとき

**1 メニュー を押し、▲/▼ で【ファクス】を選び、OK を押す**

**2 ▲/▼ で【レポート設定】を選び、OK を押す**

**3 ▲/▼ で【通信管理レポート】を選ぶ**

**4 ◀/▶ で印刷間隔を選び、OK を押す**

印刷間隔は、【レポート出力しない／ 50 件ごと／ 6 時間ごと／ 12 時間ごと／ 24 時間ごと／ 2 日ごと／ 7 日ごと】から選びます。

**A)【7 日ごと】を選んだ場合**

(1) ▲/▼ で【時刻指定】を選び、印刷する時間を入力して OK を押す

(2) ◀/▶ で印刷する曜日を選んで OK を押す

(3) 停止/終了 を押す

◆通信管理レポートが設定されます。

お好みで設定する
ファクス
電話帳
転送・リモコン機能
コピー
フォトメディアキャプチャ
付 録

### B)【6 時間ごと /12 時間ごと /24 時間ごと /2 日ごと】を選んだ場合

(1) ▲/▼ で【時刻指定】を選び、印刷する時間を入力して OK を押す

(2) 停止/終了 を押す

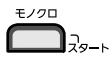
◆通信管理レポートが設定されます。

### C)【レポート出力しない /50 件ごと】を選んだ場合

(1) 停止/終了 を押す

◆通信管理レポートが設定されます。

> 定期的に通信管理レポートが印刷されると、レポートの内容はメモリーから消去されます。

# 送信結果レポートを印刷する

**[送信結果レポート]**

送信結果を印刷します。お買い上げ時は、送信エラー時に、ファクスの 1 ページ目が印刷されるように設定されています。

**注意**

■ 送信結果レポートは、モノクロでしか印刷できません。

## すぐに印刷するとき

1. **記録紙をセットする**
   ⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「記録紙トレイにセットする」
2. **メニュー を押し、▲/▼ で【レポート印刷】を選び、OK を押す**
3. **▲/▼ で【送信結果レポート】を選び、OK を押す**
4. **モノクロスタート を押す**
   送信レポートが印刷されます。
5. **印刷が終了したら、停止/終了 を押す**

## 印刷するタイミングと内容を設定する

1. **メニュー を押し、▲/▼ で【ファクス】を選び、OK を押す**
2. **▲/▼ で【レポート設定】を選び、OK を押す**
3. **▲/▼ で【送信結果レポート】を選ぶ**
4. **◄/► で設定を選び、OK を押す**
   設定は【オン／オン＋イメージ／オフ／オフ＋イメージ】から選びます。
   - 【オン】：
     ファクス送信後に、毎回結果レポートを印刷します。
   - 【オン＋イメージ】：
     ファクス送信後に、毎回結果レポートと 1 ページ目の画像を印刷します。
   - 【オフ】：
     送信エラーがあるときだけ、結果レポートを印刷します。
   - 【オフ＋イメージ】：
     送信エラーがあるときだけ、結果レポートと送信したファクスの1ページ目を印刷します。

   リアルタイム送信（⇒ 15 ページ「原稿をすぐに送る」）の場合は、画像は印刷されません。

   カラーファクスで送信できなかった場合は送信結果レポートにイメージは印刷されません。
5. **停止/終了 を押す**
   設定を終了します。

## 着信履歴リストを印刷する

**［着信履歴リスト］**

着信履歴を印刷します。

**注意**

■ 着信履歴リストはモノクロでしか印刷できません。

**1 記録紙をセットする**

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「記録紙トレイにセットする」

**2 メニュー を押し、▲/▼ で【レポート印刷】を選び、OK を押す**

**3 ▲/▼ で【着信履歴リスト】を選び、OK を押す**

**4 モノクロスタート を押す**

着信履歴リストが印刷されます。

**5 印刷が終了したら、停止/終了 を押す**

# 第３章

# 電話帳

## 電話帳



## リモートセットアップ

# 電話帳を利用する

電話帳

## 発信履歴・着信履歴から電話帳に登録する

画面に表示されるファクシミリの発信履歴や着信履歴を見ながらそのまま電話帳に登録することができます。着信履歴リストを印刷して、あらかじめ登録先や内容を確認しておくこともできます。
⇒ 28 ページ「着信履歴リストを印刷する」

**注意**

- 「ナンバー・ディスプレイサービス」の契約をしていないときは、着信履歴は使えません。
- 電話帳に同じ番号や同じ相手先名がすでに登録されていても、重複して登録されます。

**1** 履歴/ポーズ を押す

最新の発信履歴が表示されます。

- 着信履歴を見たいときは、＊トーン を押してください。
- 履歴は最新の 30 件が記録されています。
- ファクスモードのメニューからも最新の履歴を表示できます。
  ファクス を押し、▲/▼ で【発信履歴】または【着信履歴】を選び、OK を押してください。
  ⇒手順 2 へ

**2** ▲/▼ で電話帳に登録したい番号を選び、OK を押す

**3** ▲/▼ で【電話帳登録】を選び、OK を押す

電話帳画面が表示されます。
番号 1、番号 2 ともに空いている短縮番号のリストが表示されます。

**4** ▲/▼ で短縮番号を選び、OK を押す

**5** 登録したい相手先の名前を入力し、OK を押す

名前は 10 文字まで入力できます。読みがなは、自動的に 16 文字まで入力されます。
⇒ユーザーズガイド 基本編 付録「文字の入れかた」

**6** 読みがなを編集し、OK を押す

読みがなは、電話帳検索時、五十音順に並べ替えるときに使われます。
読みがなを編集する必要がない場合は、そのまま OK を押します。

**7** 【番号 1】に選択した番号が入力されていることを確認して、OK を押す

**8** 【番号 2】に設定する番号を入力し、OK を押す

【番号 2】を登録しない場合は、そのまま OK を押してください。

**9** ▲/▼ で【確定】を選び、OK を押す

**10** 停止/終了 を押す

選択した番号が電話帳に登録されます。

# グループダイヤルを登録する

［グループ登録］

電話帳に登録した複数の相手先を、1 つのグループとしてまとめて登録します。これを「グループダイヤル」といいます。グループダイヤルは、ファクスを同報送信（⇒ユーザーズガイド 基本編 第 2 章「複数の相手先に同じ原稿を送る」）するときに使用します。グループは、6 つまで登録できます。また、電話帳に登録されている相手先なら、1 つのグループに登録できる数に制限はありません。ただし、グループダイヤルも 1 件として電話帳に追加されるため、電話帳の空きがなければ登録することはできません。

**注意**

■ グループダイヤルを登録する前に、電話帳にファクス番号を登録してください。ファクス番号をそのままグループダイヤルに登録することはできません。

## 1 を押す

ファクスモードのメニューからもグループ登録を選べます。
ファクス を押し、 / で【電話帳 / 登録】を選び、OK を押してください。
⇒手順 2 へ

## 2 / で【グループ登録】を選び、OK を押す

グループダイヤルの登録画面が表示されます。

## 3 / で登録先のグループを選び、OK を押す

空いている短縮番号のリストが表示されます。

## 4 / で短縮番号を選び、OK を押す

## 5 / で【番号追加】を選び、OK を押す

## 6 グループに登録する相手先を選ぶ

以下の 2 通りの方法があります。

**A）あいうえお順で選ぶ場合**

(1) / で【あいうえお順検索】を選び、OK を押す

(2) / で登録する相手先を選び、OK を押す

**B）番号順で選ぶ場合**

(1) / で【番号順検索】を選び、OK を押す

(2) / で登録する相手先を選び、OK を押す

登録する相手先の数だけ手順 5、6 を繰り返します。

## 7 登録する番号をすべて設定したら、/ で【確定】を選んで、OK を押す

グループダイヤルが電話帳に登録されます。

## 8 停止/終了 を押す

設定を終了します。

途中で登録をやめると、登録中のデータは破棄されます。

**注意**

■ 間違った番号を登録すると、自動再ダイヤルなどの際に、間違った相手を何度も呼び出すことになります。新しくグループを登録したときは、電話帳リストを印刷して確認することをお勧めします。

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 3 章「電話帳リストを印刷する」

## グループ名を変更する

(1) 「グループダイヤルを登録する」の手順 ❸ で、名前を変更したいグループを選び、OK を押す

(2) ▲/▼ で【グループ名変更】を選び、OK を押す

(3) ダイヤルボタンでグループ名を入力し、OK を押す

⇒ユーザーズガイド 基本編 付録「文字の入力方法」

◆グループ名が変更されます。

(4) ▲/▼ で【確定】を選び、OK を押す

◆変更内容が反映されます。

(5) 停止/終了 を押す

## グループダイヤルから相手先を削除する

(1) 「グループダイヤルを登録する」の手順 ❸ で、削除したい相手先が入っているグループを選び、OK を押す

(2) 削除する相手先を ▲/▼ で選び、OK を押す

◆【消去しますか？／はい ⇒ 1 を押してください／いいえ ⇒ 2 を押してください】と表示されます。

(3) 1 を押す

◆選んだ相手先が削除されます。

(4) ▲/▼ で【確定】を選び、OK を押す

◆変更内容が反映されます。

(5) 停止/終了 を押す

## グループダイヤルを削除する

(1) 「グループダイヤルを登録する」の手順 ❸ で、削除したいグループを選び、OK を押す

(2) ▲/▼ で【消去】を選び、OK を押す

◆【消去しますか？／はい ⇒ 1 を押してください／いいえ ⇒ 2 を押してください】と表示されます。

(3) 1 を押す

◆グループが削除されます。

(4) 停止/終了 を押す

# パソコンを使って電話帳に登録する リモートセットアップ

パソコンにプリンタードライバーと一緒に自動でインストールされているアプリケーション「リモートセットアップ」を使用すると、電話帳の登録 / 編集がパソコンからできます。パソコン上では、キーボードによる入力が行えるため、名前の登録などは本製品で入力する場合に比べて簡単です。
「リモートセットアップ」の使用方法について詳しくは下記をご覧ください。
Windows® の場合
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Windows® 編」－「リモートセットアップを利用する」
Macintosh の場合
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Macintosh 編」－「リモートセットアップを利用する」

（リモートセットアップ画面例）

# 第４章

# 転送・リモコン機能

## リモコンアクセス



## 電話呼び出し

# 外出先から本製品を操作する　リモコンアクセス

外出先からトーン信号でリモコンコードを入力し、本製品を操作できます。

## 暗証番号を設定する

[暗証番号]

外出先から本製品を操作するためには、あらかじめ暗証番号（3 桁の数字または記号と＊）を設定しておく必要があります。お買い上げ時は、暗証番号は設定されていません。

**注意**

■ 暗証番号には、第三者に推測されやすい番号（生年月日など）を使用しないでください。

**1 メニュー を押し、▲/▼ で【ファクス】を選び、OK を押す**

**2 ▲/▼ で【暗証番号】を選ぶ**

**3 暗証番号を入力し、OK を押す**

「＊」の左側の 3 桁に、0 ～ 9、＊、# からお好みの番号を設定します。（暗証番号は「＊」を加えた 4 桁の番号になります。）

例）暗証番号「123」の場合は、1 2 3 を押し、OK を押します。

暗証番号の 4 桁目の「＊」は変更できません。

**4 停止/終了 を押す**

設定を終了します。

### 暗証番号を削除するときは

(1) 「暗証番号を設定する」の手順 2 までの操作を行う

(2) クリア を押す

(3) OK を押す

◆暗証番号が削除されます。

(4) 停止/終了 を押す

## 外出先から本製品を操作する

外出先からは、以下の手順で本製品を操作します。

**注意**

- リモコンアクセスするためには、あらかじめ暗証番号の設定が必要です。
⇒ 36 ページ「暗証番号を設定する」
- ブランチ接続（並列接続）をしている場合は、リモコンコードを正しく識別できないことがあります。
- 電話回線にドアホン、ガス検針器、セキュリティ装置などが接続されている場合は、リモコンコードを正しく識別できないことがあります。
- 携帯電話の一部モデルで送出されるトーン信号が不規則なため、本製品がリモコンコードを正しく識別できないことがあります。

### 1 外出先から本製品に電話する

プッシュ回線に接続されているファクシミリ、またはトーン信号が送出できるファクシミリからダイヤルします。

### 2 本製品が応答し、無音状態になったら、暗証番号（末尾＊を含む 4 桁）を入力する

暗証番号を受けつけるとメッセージの有無を音でお知らせします。

- 「ポー」：
ファクスメッセージが記憶されています。
- 無音：
ファクスメッセージが記憶されていません。
その後、「ピピッ」と鳴ったら、手順 3 に進みます。

### 3 リモコンコードを入力する

次のページの「リモコンコード」を入力します。

例）外付け留守電モードに変更するときは「9」「8」「1」を押します。

「リモコンアクセスカード」を切り取って携帯いただくと便利です。
⇒ユーザーズガイド 基本編 付録「リモコンアクセスカード」

### 4 終了するときは「9」「0」を続けて押す

正しく受け付けられたときは、「ピー」という音が 1 回聞こえます。

正しく受け付けられなかったときは、「ピピピッ」という音が聞こえます。もう一度操作をやり直してください。

# リモコンコード

外出先のファクシミリから、以下のコード番号を入力して、本製品を操作できます。

<table>
<tr><th>コード</th><th colspan="2">操作内容</th></tr>
<tr><td colspan="3">設定</td></tr>
<tr><td>951</td><td colspan="2">メモリー受信を【オフ】にする。（電話呼び出しやファクス転送の設定も解除されます。）</td></tr>
<tr><td>952</td><td colspan="2">ファクス転送を設定する。（転送先のファクス番号が登録されていないときは設定できません。）</td></tr>
<tr><td>954</td><td>ファクス転送先を設定する。</td><td>「9」「5」「4」のあと「ピー」と鳴ったら転送先番号を入力し、「#」を 2 回押す。ファクス転送の設定がされていないときは自動的に「ファクス転送」になります。</td></tr>
<tr><td>956</td><td colspan="2">メモリー受信を有効にする。（「メモリ保持のみ」となり、リモコンアクセスによるファクス転送が可能になります。）</td></tr>
<tr><td colspan="3">メモリー操作</td></tr>
<tr><td>962</td><td>メモリーに記憶されたファクスを取り出す。</td><td>「9」「6」「2」のあと「ピー」と鳴ったら転送先番号を入力し「#」を 2 回押して受話器を置く。</td></tr>
<tr><td>971</td><td>ファクスが記憶されているかを確認する。</td><td>記憶されているとき：「ピー」という音がする。<br>記憶されていないとき：「ピピピッ」という音がする。</td></tr>
<tr><td colspan="3">受信モード変更</td></tr>
<tr><td>981</td><td colspan="2">外付け留守電モードにする。</td></tr>
<tr><td>982</td><td colspan="2">自動切換えモードにする。</td></tr>
<tr><td>983</td><td colspan="2">ファクス専用モードにする。</td></tr>
<tr><td colspan="3">リモコンアクセスの終了</td></tr>
<tr><td>90</td><td colspan="2">リモコンアクセスを終了する。</td></tr>
</table>

外出先でメモリーに記憶されたファクスを取り出すには、「みるだけ受信」を【する】に設定するか、「メモリー受信」を【メモリ保持のみ】に設定する必要があります。
⇒ユーザーズガイド 基本編 第 2 章「みるだけ受信を設定する」
⇒ユーザーズガイド 基本編 第 2 章「ファクスをメモリーで受信する」

リモコンアクセス機能を使用する場合には、暗証番号の入力が必要です。受信モードによって、暗証番号を入力するタイミングが異なります。
受信モードについて ⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「受信モードを選ぶ」

- ファクス専用モードの場合
  メモリー受信を設定しているとき：
  応答後、約 4 秒間無音になるので、このときに暗証番号を入力します。
  メモリー受信を設定していないとき：
  ファクス信号（ピーヒョロヒョロ音）の間の無音状態のときに暗証番号を入力します。
- 自動切換えモードの場合
  応答後、約 4 秒間無音になるので、このときに暗証番号を入力します。
- 外付け留守電モードの場合
  本製品と接続している留守番電話が応答後、応答メッセージが聞こえてくる前の無音状態のときに暗証番号を入力します。

※本製品と接続している留守番電話に応答メッセージを録音する際に、あらかじめ 4 ～ 5 秒無音状態を入れておいてください。

# 外出先に転送する　電話呼び出し

## ファクスが届いたことを電話で知らせる

［電話呼び出し］

ファクスを受信すると、登録した電話番号に電話をかけてファクスが届いたことを知らせます。
そのあと、外出先のファクシミリからリモコンアクセス機能を利用して、ファクスを取り出すことができます。
⇒ 37 ページ「外出先から本製品を操作する」

**注意**

■「電話呼び出し」は、「PC ファクス受信」、「ファクス転送」、「メモリ保持のみ」と同時に設定することはできません。
■ 電話呼び出し先として設定した電話が通話中の場合は、呼び出しされません。
■ 通信管理レポートや発信履歴に呼び出しの履歴は残りません。
■ 呼び出し先の電話番号は、外出先から変更することはできません。
■「電話呼び出し」を設定をしても、本製品がカラーファクスを受信すると、呼び出し動作を行いません。
■ NTT のボイスワープサービスとは異なります。ボイスワープはかかってきた通話そのものを転送するサービスです。詳しくは、NTT にお問い合わせください。

**1** メニュー を押し、▲/▼ で【ファクス】を選び、OK を押す

**2** ▲/▼ で【受信設定】を選び、OK を押す

**3** ▲/▼ で【メモリー受信】を選び、OK を押す

**4** ▲/▼ で【電話呼び出し】を選び、OK を押す

すでに呼び出し先の電話番号が登録されている場合は、登録済みの電話番号が表示されます。

電話番号を変更する場合は ▲/▼ で【変更する】を選んで OK を押します。
⇒手順 5 へ

変更しない場合は ▲/▼ で【変更しない】を選び、OK を押します。
⇒手順 6 へ

**5** 呼び出し先の電話番号を入力し、OK を押す

**6** 停止/終了 を押す

設定を終了します。

### 電話呼び出しを解除する

(1)「ファクスが届いたことを電話で知らせる」の手順 4 で【オフ】を選び、OK を押す

(2) 停止/終了 を押す
◆電話呼び出しが解除されます。

# 第５章

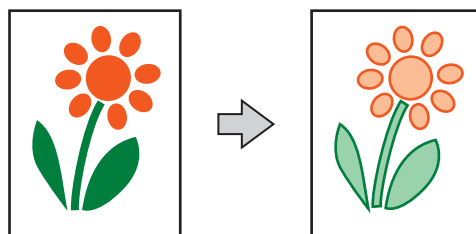
# コピー

応用

# いろいろなコピー 応用

## インクを節約してコピーする

[インク節約モード]

文字や画像などの内側を薄く印刷して、インクの消費量を抑えます。

**注意**

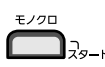
■ 原稿の種類によっては、コピー結果がイメージと異なることがあります。
■「レイアウトコピー」、「ブックコピー」、「透かしコピー」と同時に設定することはできません。

「インク節約モード」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。

**1 原稿をセットする**

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「原稿をセットする」

**2 [コピー] を押す**

コピーモードに切り替わります。

**3 複数部コピーするときは、ダイヤルボタンで部数を入力する**

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 4 章「複数部コピーする」

**4 [▲]/[▼] で【インク節約モード】を選ぶ**

**5 [◀]/[▶] で【オン】を選び、[OK] を押す**

**6 モノクロでコピーするときは [モノクロスタート] を、カラーでコピーするときは [カラースタート] を押す**

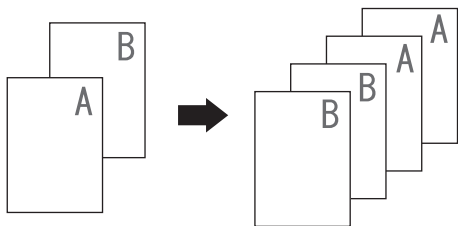
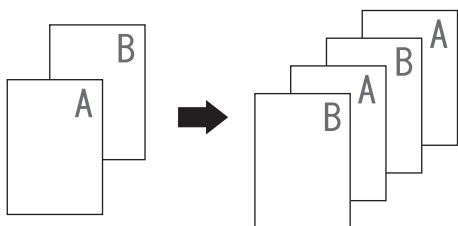
# スタック / ソートコピーする

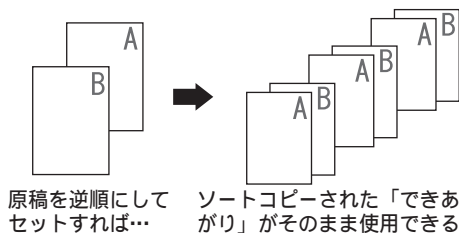
[スタックコピー / ソートコピー]

複数ページの原稿を複数部コピーする場合、ページごとまたは一部ごとにまとめて排出します。

**注意**

■「拡大 / 縮小」の「用紙に合わせる」、「ブックコピー」、「レイアウトコピー」と「ソートコピー」は同時に設定することはできません（「スタックコピー」は同時設定できます）。

- スタックコピー
ページごとにまとめて排出します。

- ソートコピー
一部ごとにまとめて排出します。

コピーは読み取った順に上向きで排出されるため、複数部のコピーをする場合、最後に読み取った原稿のコピーが一番上になります。したがってソートコピー機能を使って大量の部数のコピーを作成するときは、できあがりを逆順に入れ替える手間を省くため、あらかじめ元になる原稿を逆順にしておくことをお勧めします。

原稿を逆順にしてセットすれば…　ソートコピーされた「できあがり」がそのまま使用できる

## 1 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする」

## 2 コピー を押す

コピーモードに切り替わります。

## 3 ▲/▼ で【スタック / ソート コピー】を選ぶ

## 4 ◀/▶ で【スタックコピー】または【ソートコピー】を選び、OK を押す

## 5 コピーしたい部数（1 ～ 99）をダイヤルボタンで入力する

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 4 章「複数部コピーする」

コピー枚数は 99 部まで設定できます。100 部以上コピーする場合は、再度設定してください。

## 6 モノクロでコピーするときは モノクロスタート を、カラーでコピーするときは カラースタート を押す

原稿の読み取り中に「メモリーがいっぱいです」と表示されたときは下記をご覧ください。
⇒ 52 ページ「「メモリーがいっぱいです」と表示されたときは」

メモリーの残量が少ないと機能しない場合があります。

スタック / ソートコピーを行うと、画質が若干劣化する場合があります。きれいな状態でコピーしたい場合は 1 部ずつコピーしてください。

# 2in1 コピー/4in1 コピー/ ポスターコピーする（レイアウトコピー）

**[レイアウトコピー]**

2 枚または 4 枚の原稿を 1 枚の A4 記録紙に割り付けてコピーしたり、1 枚の原稿を 9 枚の A4 記録紙に拡大コピーして、ポスターを作ったりできます。

**注意**

■「レイアウトコピー」では、記録紙サイズを【A4】に設定してください。
■「拡大 / 縮小」、「インク節約モード」、「ソートコピー」、「ブックコピー」、「透かしコピー」と同時に設定することはできません。

## 1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「原稿をセットする」

「ポスターコピー」をする場合は、原稿台ガラスに原稿をセットしてください。

## 2 コピー を押す

コピーモードに切り替わります。

## 3 複数部コピーするときは、ダイヤルボタンで部数を入力する

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 4 章「複数部コピーする」

※この設定は、2in1、4in1 のモノクロコピーのみ有効です。

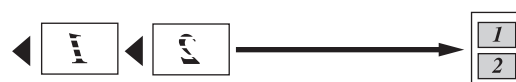
## 4 ▲/▼で【レイアウト コピー】を選ぶ

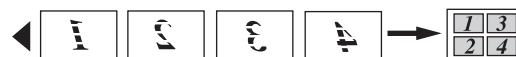
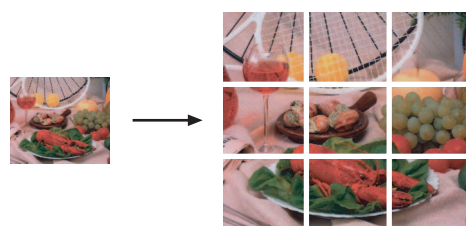
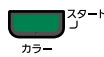
## 5 ◀/▶でレイアウトを選び、OK を押す

レイアウトは【オフ（1 in 1）／ 2in1 （タテ長）／ 2in1 （ヨコ長）／ 4in1 （タテ長）／ 4in1 （ヨコ長）／ポスター（3 x 3)】から選びます。

コピーは読み取った順に上向きで排出されます。複数枚のコピーをする場合、最後に読み取った原稿のコピーが一番上になります。

- 2in1（タテ長）

- 2in1（ヨコ長）

- 4in1（タテ長）

- 4in1（ヨコ長）

- ポスター（3 x 3)

> ポスターコピーは、原稿をポスターサイズに拡大し、9 枚の記録紙に分割してコピーします。ポスターコピーをする場合は、あらかじめ記録紙トレイに記録紙を分割される枚数以上セットしてください。

## 6 モノクロでコピーするときは モノクロスタートを、カラーでコピーするときは カラースタート を押す

ADF を使った場合や、【オフ】または【ポスター（3x3）】を選んだときは、コピーが開始されます。

原稿台ガラスに原稿をセットして、【2in1】または【4in1】を選んだときは、原稿の読み取りが開始され、【次の原稿はありますか？／はい ⇒ 1 を押してください／いいえ ⇒ 2 を押してください】と表示されます。

## 7 1 を押す

## 8 次の原稿をセットし、OK を押す

コピーするすべての原稿に対して、手順 7、8 を繰り返し行います。

## 9 すべての原稿を読み取ったら、2 を押してコピーを終了する

# ブックコピーする

**[ブックコピー]**

原稿台ガラスに本のようにとじた原稿をセットするとき、とじ部分の影や原稿セットの傾きを修正してコピーできます。補正を本製品で自動的に調整する方法と、画面で確認しながら合わせる方法があります。

**注意**

- 「拡大 / 縮小」の「用紙に合わせる」、「インク節約モード」、「ソートコピー」、「レイアウトコピー」、「透かしコピー」と同時に設定することはできません。
- ADF に原稿をセットすることはできません。

「ブックコピー」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。

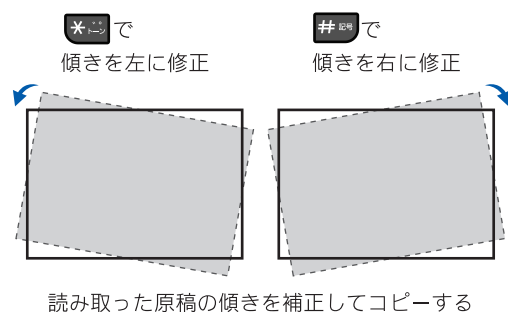
## 自動的に補正してブックコピーする

1. **原稿台ガラスに原稿をセットする**
   ⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「原稿台ガラスに原稿をセットする」
2. **コピー を押す**
   コピーモードに切り替わります。
3. **複数部コピーするときは、ダイヤルボタンで部数を入力する**
   ⇒ユーザーズガイド 基本編 第 4 章「複数部コピーする」
4. **▲/▼ で【ブックコピー】を選ぶ**
5. **◀/▶ で【オン】を選び、OK を押す**
6. **モノクロでコピーするときは モノクロ スタート を、カラーでコピーするときは カラー スタート を押す**

## 手動で補正してブックコピーする

1. **原稿台ガラスに原稿をセットする**
   ⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「原稿台ガラスに原稿をセットする」
2. **コピー を押す**
   コピーモードに切り替わります。
3. **複数部コピーするときは、ダイヤルボタンで部数を入力する**
   ⇒ユーザーズガイド 基本編 第 4 章「複数部コピーする」
4. **▲/▼ で【ブックコピー】を選ぶ**
5. **◀/▶ で【オン（画面で確認)】を選び、OK を押す**
6. **モノクロでコピーするときは モノクロ スタート を、カラーでコピーするときは カラー スタート を押す**

**7 画面で確認しながら、＊ / # で傾きを調整する**

読み取った原稿の傾きを補正してコピーする

**8 画面で確認しながら、▲/▼ で影補正を調整する**

**9 モノクロでコピーするときは モノクロスタート を、カラーでコピーするときは カラースタート を押す**

# コピーに文字や画像を重ねる

**[透かしコピー]**

コピー画像にロゴやテキストなど、設定した画像を同時に追加できます。追加する透かしには以下の種類があります。

- テンプレート

【COPY】【CONFIDENTIAL】【重要】のいずれかの文字を挿入します。位置、サイズ、回転、透過度、色を設定できます。

- メディア

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーなどに保存されているデータから画像を選択して追加できます。位置、サイズ、回転、透過度を設定できます。

- スキャン

スキャンした画像を追加できます。透過度を設定できます。

**注意**

■「拡大/縮小」の「用紙に合わせる」、「インク節約モード」、「レイアウトコピー」、「ブックコピー」と同時に設定することはできません。

■ 1280 × 1280 ピクセルを超えるデータは透かしの画像として使用できません。

■ 使用できないデータは、? と表示されます。

「透かしコピー」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。

## テンプレートを重ねてコピーする

**1 原稿をセットする**

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「原稿をセットする」

**2 コピー を押す**

コピーモードに切り替わります。

**3 複数部コピーするときは、ダイヤルボタンで部数を入力する**

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 4 章「複数部コピーする」

**4 ▲/▼ で【透かしコピー】を選び、OK を押す**

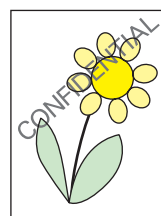
**5 ◀/▶ で【オン】を選ぶ**

**6 ▲/▼ で【現在の設定】を選び、OK を押す**

**7 ▲/▼ で【テンプレート】を選び、OK を押す**

**8 透かしの設定を行う**

次の 6 項目を設定します。▲/▼ で項目を選び、◀/▶ で設定値を選んでください。

- 【テキスト】：
  透かしの文字を【COPY／CONFIDENTIAL／重要】から選びます。
- 【位置】：
  透かしの位置を【A／B／C／D／E／F／G／H／I／全面に印刷】から選びます。【全面に印刷】を選ぶと、紙面全体に文字を繰り返し追加します。
- 【サイズ】：
  透かしのサイズを【小／中／大】から選びます。
- 【回転】：
  透かしの角度を【-90°／-45°／ 0°／45°／ 90°】から選びます。
- 【透過度】：
  透かしの透過度を【-2／-1／ 0／+1／+2】から選びます。
- 【色】：
  透かしの色を【赤／オレンジ／黄／青／緑／紫／黒】から選びます。

テキスト：CONFIDENTIAL
位置：B（中央上）
サイズ：大
回転角度：－45°
透過度：＋2
色：黒

右記の設定内容で透かしコピーしたイメージ

**9 ▲/▼ で【確定】を選び、OK を押す**

**10 モノクロでコピーするときは モノクロスタート を、カラーでコピーするときは カラースタート を押す**

お好みで設定する
ファクス
電話帳
転送・リモコン機能
コピー
フォトメディアキャプチャ
付録

## メディアの画像を重ねてコピーする

メモリーカードやUSBフラッシュメモリーをセットして、保存されている画像を透かしとして追加します。

**注意**

- デジカメプリント が点滅しているときは、電源プラグを抜いたり、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの抜き差しをしないでください。データやメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを壊す恐れがあります。

### 1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「原稿をセットする」

### 2 コピー を押す

コピーモードに切り替わります。

### 3 複数部コピーするときは、ダイヤルボタンで部数を入力する

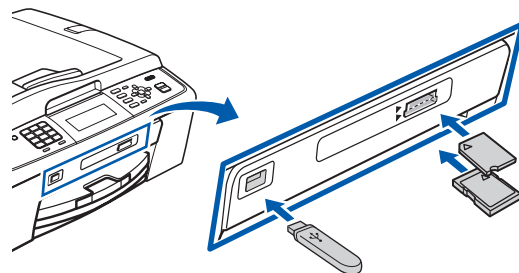
⇒ユーザーズガイド 基本編 第 4 章「複数部コピーする」

### 4 ▲/▼ で【透かしコピー】を選び、OK を押す

### 5 ◀/▶ で【オン】を選ぶ

### 6 ▲/▼ で【現在の設定】を選び、OK を押す

### 7 本製品のカードスロットまたは USB フラッシュメモリー差し込み口に、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを差し込む

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーは、正しいカードスロットまたは USB フラッシュメモリー差し込み口にしっかりと差し込んでください。

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 5 章「メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする」

### 8 ▲/▼ で【メディア】を選び、OK を押す

### 9 ◀/▶ で画像データを選び、OK を押す

**注意**

- 1280 × 1280 ピクセルを超えるデータは透かしの画像として使用できません。
- 使用できないデータは、? と表示されます。

**10 透かしの設定を行う**

次の 4 項目を設定します。▲/▼ で項目を選び、◀/▶ で設定値を選んでください。

- 【位置】：
  透かしの位置を【A ／ B ／ C ／ D ／ E ／ F ／ G ／ H ／ I ／全面に印刷】から選びます。【全面に印刷】を選ぶと、紙面全体に選んだ画像を繰り返し追加します。
- 【サイズ】：
  透かしのサイズを【小／中／大】から選びます。
- 【回転】：
  透かしの角度を【-90° ／ -45° ／ 0° ／ 45° ／ 90° 】から選びます。
- 【透過度】：
  透かしの透過度を【-2 ／ -1 ／ 0 ／ +1 ／ +2】から選びます。

**11 ▲/▼ で【確定】を選び、OK を押す**

**12 モノクロでコピーするときは モノクロスタート を、カラーでコピーするときは カラースタート を押す**

## スキャンした画像を重ねてコピーする

**1 コピー を押す**

コピーモードに切り替わります。

**2 複数部コピーするときは、ダイヤルボタンで部数を入力する**

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 4 章「複数部コピーする」

**3 ▲/▼ で【透かしコピー】を選び、OK を押す**

**4 ◀/▶ で【オン】を選ぶ**

**5 ▲/▼ で【現在の設定】を選び、OK を押す**

**6 ▲/▼ で【スキャン】を選び、OK を押す**

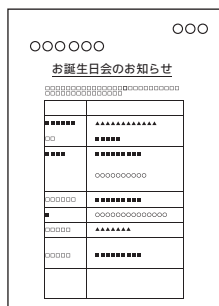
**7 透かしに使用する原稿を原稿台ガラスにセットする**

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「原稿をセットする」

透かしに使用する原稿

**8 カラースタート を押して原稿をスキャンする**

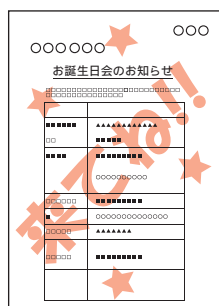
## 9 スキャンした原稿を取り除き、コピーする原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「原稿をセットする」

コピーする原稿

## 10 ◀/▶ で透かしの透過度を選ぶ

【-2 ／ -1 ／ 0 ／ +1 ／ +2】から選びます。

## 11 ◀/▶ で【確定】を選び、OK を押す

## 12 モノクロでコピーするときは モノクロ スタート を、カラーでコピーするときは カラー スタート を押す

仕上がりイメージ

スキャンした透かしは拡大 / 縮小できません。

## 「メモリーがいっぱいです」と表示されたときは

本製品内部のメモリーがいっぱいになると、画面にエラーメッセージが表示されます。

- 停止/終了 を押すと、コピーがキャンセルされます。
- モノクロ スタート / カラー スタート を押すと、すでに読み取りが終わっている原稿のコピーが開始されます。

メモリーに受信したファクスがある場合は、印刷して、コピー時に使用できるメモリーを確保してください。詳しくは、⇒ユーザーズガイド 基本編 第 2 章「メモリー受信したファクスを印刷する」をご覧ください。

スタック / ソートコピーを行っている場合は、画質の設定を変更するか、原稿の枚数を少なくしてお試しください。

# 第６章

# フォトメディアキャプチャ

デジカメプリント

# 写真や動画をプリントする

デジカメプリント

## インデックスシートをプリントする

[インデックスプリント]

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーに保存されている画像データを、一覧にしてプリント（インデックスプリント）できます。
A4 サイズの記録紙 1 ページ内に【速い /1 行 6 個印刷】の場合は最大 42 個、【きれい /1 行 5 個印刷】の場合は最大 30 個の画像がプリントされます。

**注意**

■ インデックスシートは、カラーでしかプリントできません。

### 1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、デジカメプリント を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

### 2 ▲/▼ で【インデックスプリント】を選び、OK を押す

レイアウト選択、記録紙タイプ、記録紙サイズのメニューが表示されます。

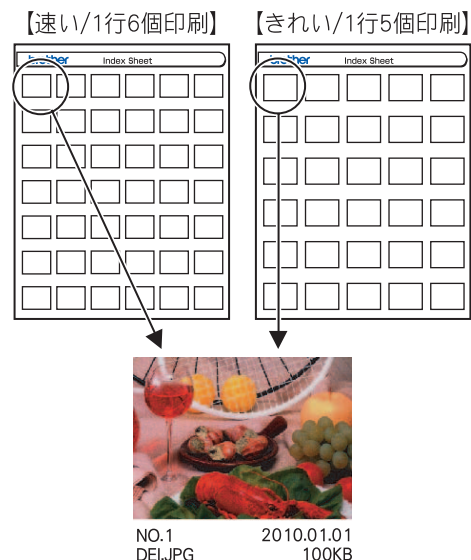
### 3 ▲/▼ で【レイアウト選択】を選ぶ

### 4 ◀/▶ でレイアウトを選び、OK を押す

レイアウトは、【速い /1 行 6 個印刷／きれい /1 行 5 個印刷】から選びます。

【速い/1行6個印刷】 【きれい/1行5個印刷】

Index Sheet

NO.1 2010.01.01
DEI.JPG 100KB

### 5 ▲/▼ で【記録紙タイプ】を選ぶ

### 6 ◀/▶ で記録紙のタイプを選び、OK を押す

記録紙のタイプは、【普通紙／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／ブラザー BP61 光沢／その他光沢】から選びます。

### 7 モノクロスタート または カラースタート を押す

インデックスシートが撮影日時の順番でプリントされます。

- デジタルカメラでつけた名称やパソコンでのファイル名が半角英数字 8 文字以内の場合は、ファイル名が認識されます。ファイル名が認識されない場合は、順番に、1、2、3 のように番号が割り振られます。
- インデックスプリントでは、記録紙タイプ以外の設定（明るさやコントラストなど）は固定です。
- プリントできる画像は JPEG（.JPG）、および、MotionJPEG の AVI（.AVI）、MOV（.MOV）ファイル形式です。

## 番号を指定して画像をプリントする

**［番号指定プリント］**

インデックスシートに表示されている番号で、プリントする画像を指定できます。

### 1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、デジカメプリント を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

### 2 ▲/▼ で【番号指定プリント】を選び、OK を押す

### 3 ダイヤルボタンでプリントしたい画像の番号を入力し、OK を押す

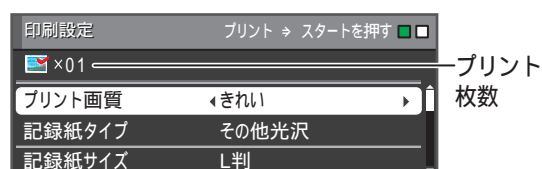
例 1：1 ～ 5 番を入力する

1 # 5 * の順番でダイヤルボタンを押す

例 2：1、3、5 番を入力する

1 * 3 * 5 * の順番でダイヤルボタンを押す

> 入力できる文字は、区切り記号も含めて 12 文字までです。

### 4 画面で設定を確認する

> 画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
> ⇒ユーザーズガイド 基本編 第 5 章「設定を変えて画像をプリントするには」

### 5 ダイヤルボタンでプリント枚数を入力する

### 6 モノクロスタート または カラースタート を押す

指定した番号の画像がプリントされます。

# 色や明るさを補正してプリントする

**[色調整プリント]**

画像をプリントする際に、色や明るさを補正して美しくプリントすることができます。

「色調整プリント」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。

## 人物と風景を美しくプリントする［自動色補正］

人物も風景も美しくプリントしたいときに使用します。

**1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする**

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、デジカメプリント を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

**2 ▲/▼ で【色調整プリント】を選び、OK を押す**

**3 ◀/▶ でプリントしたい画像を選ぶ**

▲ を押すたびに 90° ずつ左回りに、▼（みるだけ受信）を押すたびに 90° ずつ右回りに回転します。

**4 OK を押す**

**5 ▲/▼ で【自動色補正】を選び、OK を押す**

補正後の画像が表示されます。

人物の赤目を修正したい場合は、#（記号）を押して、赤目補正を行ってください。

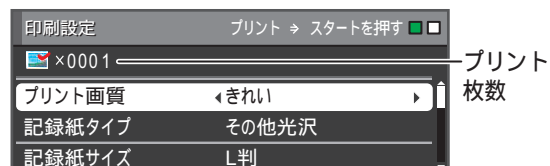
✻（トーン）を押すと拡大表示されます。このとき、▲ ▼（みるだけ受信） ◀ ▶ でスクロールすることができます。もう一度 ✻ を押すと、元に戻ります。

**6 OK を押す**

**7 ダイヤルボタンでプリント枚数を入力し、OK を押す**

**8 画面で設定を確認する**

画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
⇒ユーザーズガイド 基本編 第 5 章「設定を変えて画像をプリントするには」

**9 モノクロスタート または カラースタート を押す**

選択した画像がプリントされます。

## 肌を美しくプリントする［肌色あかるさ補正］

人物の肌を美しくプリントしたいときに使用します。

**1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする**

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、デジカメプリントを押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

**2 ▲/▼ で【色調整プリント】を選び、OK を押す**

**3 ◀/▶ でプリントしたい画像を選ぶ**

▲ を押すたびに 90° ずつ左回りに、▼ を押すたびに 90° ずつ右回りに回転します。

**4 OK を押す**

**5 ▲/▼ で【肌色あかるさ補正】を選び、OK を押す**

補正後の画像が表示されます。

▲/▼ で補正量を 3 段階に調節できます。

＊ を押すと拡大表示されます。このとき、▲ ▼ ◀ ▶ でスクロールすることができます。もう一度 ＊ を押すと、元に戻ります。

**6 OK を押す**

**7 ダイヤルボタンでプリント枚数を入力し、OK を押す**

**8 画面で設定を確認する**

画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
⇒ユーザーズガイド 基本編 第 5 章「設定を変えて画像をプリントするには」

**9 モノクロスタート または カラースタート を押す**

選択した画像がプリントされます。

## 風景を美しくプリントする [色あざやか補正]

風景を美しくプリントしたいときに使用します。

### 1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、デジカメプリント を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

### 2 ▲/▼ で【色調整プリント】を選び、OK を押す

### 3 ◀/▶ で、プリントしたい画像を選ぶ

▲ を押すたびに 90°ずつ左回りに、▼(みるだけ受信) を押すたびに 90°ずつ右回りに回転します。

### 4 OK を押す

### 5 ▲/▼ で【色あざやか補正】を選び、OK を押す

補正後の画像が表示されます。

▲/▼ で補正量を 3 段階に調節できます。

✱ を押すと拡大表示されます。このとき、▲ ▼ ◀ ▶ でスクロールすることができます。もう一度 ✱ を押すと、元に戻ります。

### 6 OK を押す

### 7 ダイヤルボタンでプリント枚数を入力し、OK を押す

### 8 画面で設定を確認する

画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
⇒ユーザーズガイド 基本編 第 5 章「設定を変えて画像をプリントするには」

### 9 モノクロスタート または カラースタート を押す

選択した画像がプリントされます。

## 赤目を修正する［赤目補正］

フラッシュ撮影時の赤目を修正してプリントできます。

赤目補正は付属のソフトウェア「FaceFilter Studio」でも行うことができます。パソコンに保存されている画像の赤目を修正するときは「FaceFilter Studio」を使用してください。
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「FaceFilter Studio で写真をプリントする」

フラッシュ撮影時の条件によっては、赤目補正ができないことがあります。

### 1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、デジカメプリントを押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

### 2 ▲/▼ で【色調整プリント】を選び、OK を押す

### 3 ◀/▶で、赤目を補正してプリントしたい画像を選ぶ

▲を押すたびに 90°ずつ左回りに、▼を押すたびに 90°ずつ右回りに回転します。

### 4 OK を押す

### 5 ▲/▼ で【赤目補正】を選び、OK を押す

■補正できたとき
補正後の画像が表示され、顔が赤枠で囲まれます。

✱を押すと拡大表示されます。このとき、▲ ▼ ◀ ▶ でスクロールすることができます。もう一度✱を押すと、元に戻ります。

■補正できなかったとき
「赤目を検出できません」と表示されます。

### 6 再度補正するには、# を押す

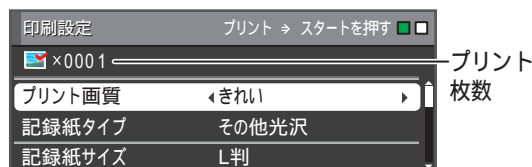
■補正できたとき
補正後の画像が表示され、目が赤枠で囲まれます。

✱を押すと拡大表示されます。このとき、▲ ▼ ◀ ▶ でスクロールすることができます。もう一度✱を押すと、元に戻ります。

■補正できなかったとき
「赤目を検出できません」と表示されます。

### 7 OK を押す

### 8 ダイヤルボタンでプリント枚数を入力し、OK を押す

### 9 画面で設定を確認する

画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
⇒ユーザーズガイド 基本編 第 5 章「設定を変えて画像をプリントするには」

### 10 モノクロスタート または カラースタート を押す

選択した画像がプリントされます。

お好みで設定する
ファクス
電話帳
転送・リモコン機能
コピー
フォトメディアキャプチャ
付録

## 白黒でプリントする［モノクロ］

カラーで撮影した画像をモノクロでプリントしたいときに使用します。

**1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする**

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、デジカメプリント を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

**2 ▲/▼ で【色調整プリント】を選び、OK を押す**

**3 ◀/▶ で、プリントしたい画像を選ぶ**

▲ を押すたびに 90° ずつ左回りに、
▼ を押すたびに 90° ずつ右回りに回転します。

**4 OK を押す**

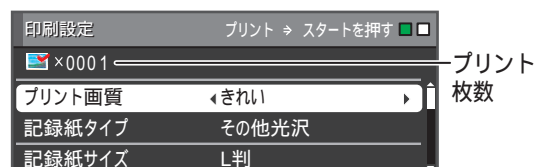
**5 ▲/▼ で【モノクロ】を選び、OK を押す**

モノクロに補正された画像が表示されます。

＊ を押すと拡大表示されます。このとき、▲ ▼ ◀ ▶ でスクロールすることができます。もう一度 ＊ を押すと、元に戻ります。

**6 OK を押す**

**7 ダイヤルボタンでプリント枚数を入力し、OK を押す**

**8 画面で設定を確認する**

画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
⇒ユーザーズガイド 基本編 第 5 章「設定を変えて画像をプリントするには」

**9 モノクロスタート または カラースタート を押す**

選択した画像がモノクロでプリントされます。

## セピア色でプリントする［セピア］

画像をセピア色でプリントします。

**1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする**

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、デジカメプリント を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

**2 ▲/▼ で【色調整プリント】を選び、OK を押す**

**3 ◀/▶ で、プリントしたい画像を選ぶ**

▲ を押すたびに 90° ずつ左回りに、
▼ を押すたびに 90° ずつ右回りに回転します。

4 OK を押す

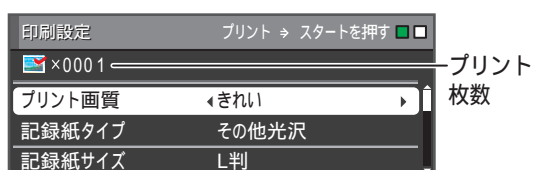
5 ▲/▼ で【セピア】を選び、OK を押す

セピア色に補正された画像が表示されます。

✎ ✱ を押すと拡大表示されます。このとき、▲ ▼ ◀ ▶ でスクロールすることができます。もう一度 ✱ を押すと、元に戻ります。

6 OK を押す

7 ダイヤルボタンでプリント枚数を入力し、OK を押す

8 画面で設定を確認する

✎ 画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
⇒ユーザーズガイド 基本編 第 5 章「設定を変えて画像をプリントするには」

9 モノクロスタート または カラースタート を押す

選択した画像がセピア色でプリントされます。

# 撮影した日付で画像を探す

［日付から検索］

撮影した日付で、プリントする画像を指定できます。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、デジカメプリント を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 ▲/▼ で【日付から検索】を選び、OK を押す

撮影日と撮影枚数の一覧が表示されます。

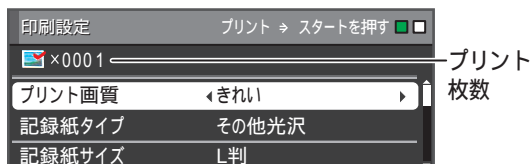
3 ▲/▼ で日付を選び、OK を押す

4 ◀/▶ で、プリントしたい画像を選ぶ

✎ ◀/▶ を繰り返し押すと、他の日付の画像も表示できます。◀ で古い日付、▶ で新しい日付の画像が表示されます。

✎ ▲ を押すたびに 90°ずつ左回りに、▼ を押すたびに 90°ずつ右回りに回転します。

5 ダイヤルボタンでプリント枚数を入力する

6 手順 4、5 を繰り返して、プリントしたい画像をすべて選び枚数を指定する

### 7 OK を押す

### 8 画面で設定を確認する

画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
⇒ユーザーズガイド 基本編 第 5 章「設定を変えて画像をプリントするには」

### 9 モノクロ スタート または スタート カラー を押す

選択した画像がプリントされます。

## メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像をすべてプリントする

**[すべてプリント]**

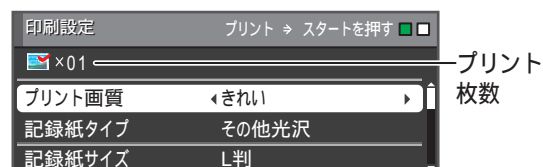
メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーの画像をすべてプリントするときは、以下の手順で行います。

### 1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、デジカメプリント を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

### 2 ▲/▼ で【すべてプリント】を選び、OK を押す

### 3 画面で設定を確認する

画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
⇒ユーザーズガイド 基本編 第 5 章「設定を変えて画像をプリントするには」

### 4 ダイヤルボタンでプリント枚数を入力する

### 5 モノクロ スタート または スタート カラー を押す

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内のすべての画像がプリントされます。

# メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像を自動で順番に表示する

［スライドショー］

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像を、画面に一定の間隔で順番に表示することができます。このとき、必要な画像を選んでプリントすることもできます。

**1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする**

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、デジカメプリント を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

**2 ▲/▼ で【スライドショー】を選び、OK を押す**

スライドショーが始まります。

**3 終了するには 停止/終了 を押す**

スライドショーが終了します。

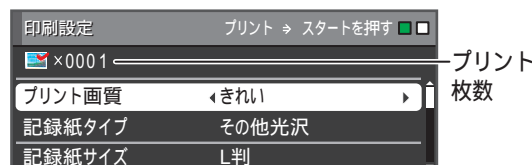
## スライドショーの途中で画像をプリントする

**1 プリントしたい画像が表示されている間に OK を押す**

**2 ダイヤルボタンでプリント枚数を入力する**

◀/▶ で他の画像も選ぶことができます。

▲ を押すたびに 90° ずつ左回りに、▼（みるだけ受信）を押すたびに 90° ずつ右回りに回転します。

**3 OK を押す**

**4 画面で設定を確認する**

画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
⇒ユーザーズガイド 基本編 第 5 章「設定を変えて画像をプリントするには」

**5 モノクロスタート または カラースタート を押す**

選択した画像がプリントされます。

# 画像の一部をプリントする

**［トリミング］**

画像の中から必要な部分だけを切り出してプリントすることができます。画像を回転させることもできます。

> 画像のサイズが非常に小さい場合（縦横それぞれ 240 ピクセル未満）や縦横比が非常に大きい場合は、トリミングできないことがあります。

## 1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、デジカメプリント を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

## 2 ▲/▼ で【トリミング】を選び、OK を押す

## 3 ◀/▶ でトリミングしたい画像を選ぶ

> ▲ を押すたびに 90°ずつ左回りに、▼（みるだけ受信）を押すたびに 90°ずつ右回りに回転します。

## 4 OK を押す

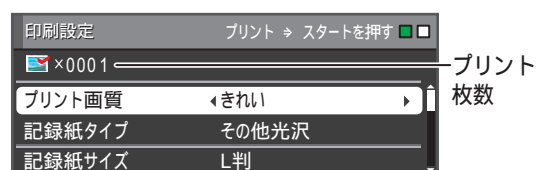
トリミングの範囲を示す赤枠が表示されます。この枠内がプリントされます。

## 5 枠の位置とサイズを選ぶ

> ▲/▼ または ◀/▶ で移動します。
> ＊ で拡大、# で縮小します。
> □ を押すたびに、枠の縦横が入れ替わります。

## 6 OK を押す

## 7 ダイヤルボタンでプリント枚数を入力し、OK を押す

## 8 画面で設定を確認する

> 画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
> ⇒ユーザーズガイド 基本編 第 5 章「設定を変えて画像をプリントするには」

## 9 モノクロスタート または カラースタート を押す

トリミングした画像がプリントされます。

# 用語解説

＝あ＝

● アプリケーションソフトウェア

ワープロや表計算など、ユーザーが直接操作するソフトウェアです。

● インクジェット

専用のインクをプリントヘッドのノズルから記録紙に吹き付けて印刷する方式です。

● インターフェイス

パソコンと周辺装置のように、機能や条件の違うものの間で、データをやりとりするためのハードウェアまたはソフトウェアです。

● ウィザード

Windows® などで、設定作業を半自動化してくれる機能です。

● オプション機能

標準仕様に対し、お客様の希望に応じて変更できる機能です。

＝か＝

● 回線種別

電話に使われているダイヤリングの方法です。発生したパルスを数えて検出するダイヤル式と、周波数を検出して判別するプッシュ式があります。

● 画質強調

解像度や明るさを自動的に調整して、より鮮やかに印刷する機能です。

● 機密ポーリング

受信側と送信側が同じパスワードを使用することによって、パスワードを知っている人だけがファクスを受け取れる機能です。

● 原稿台ガラス

コピーやファクスのときに原稿を置くところです。ここから原稿を読み取ります。

＝さ＝

● 親切受信

ファクスを着信したときに間違えて電話をとってしまったときでも自動的に本製品がファクス受信を行う機能です。

● スプリッター

ADSL 環境で必要な機器の 1 つです。音声信号とデータ信号を分けたり重ねたりします。

＝た＝

● ターミナルアダプター

ISDN 回線で必要な機器の 1 つです。パソコンや電話機を ISDN 回線に接続するために必要な信号の変換を行います。

● タスクバー

Windows® の画面上にあるプログラムの起動やフォルダーの表示のためのボタンを配置してある場所のことです。

● デバイス

ハードディスクやプリンターのような、パソコンで使用されるハードウェアのことです。

● デュアルアクセス

1 つの機能の動作中に別の機能を並行して処理できることです。

● 同報送信

同じ原稿を複数の送信先に対して一度に送る機能です。

● 取りまとめ送信

メモリーに貯えられているタイマー送信用のデータを、同一の相手ごとにまとめて送る機能です。

＝な＝

● ナンバーディスプレイ

電話がかかってきたときに相手の電話番号を画面に表示する機能です。この機能を利用するには、ご利用の電話会社との契約が必要です。（有料）

＝は＝

● ファクス転送

受信したファクスメッセージを、指定したファクシミリに転送する機能です。

● プリンタードライバー

パソコンから印刷をするために必要なソフトウェアです。

● ポーリング通信

受信側のファクス操作で送信側のファクスにセットしてある原稿を自動的に送信させる機能です。

● ポスターコピー

1 枚の原稿を 9 分割し、9 枚の記録紙に拡大コピーします。

＝ま＝

● メモリー送信

ファクス原稿を初めに読み取り、それをメモリーに貯えてから送信する機能です。

● メモリー受信

受信したファクスを印刷するとともに本製品のメモリーに記憶する機能です。

● メモリー代行受信

記録紙がセットされていないときなどに、受信したデータをいったんメモリーに保存する機能です。記録紙をセットすると印刷されます。

＝ら＝

● リアルタイム送信

メモリーに貯えず、原稿を読み取りながら送信する機能です。

● リモートセットアップ

本製品に対する機能設定をパソコン上で簡単に行うことができる機能です。

● リモコンアクセス

外出先から本製品をリモートコントロールして操作を行う機能です。

● ログオン（ログイン）

パソコンやシステムへアクセスするときに行う操作です。

## ＝数字＝

● 2in1

2 枚の原稿を縮小し、1 枚の記録紙にコピーする機能です。

● 4in1

4 枚の原稿を縮小し、1 枚の記録紙にコピーする機能です。

## ＝ A to Z ＝

● ADF（自動原稿送り装置）

Automatic Document Feeder の略。複数枚の原稿を連続して読み取ることのできる装置です。

● ADSL

Asymmetric Digital Subscriber Line の略。通常の電話回線（アナログ回線）で、従来使っていなかった帯域を利用してデータを高速に伝送する通信サービスです。

● CMYK

シアン（Cyan）、マゼンタ（Magenta）、イエロー（Yellow）、黒（Black）によって表される色の表現方法です。光の三原色、赤、青、緑（RGB）による、加法混色に対し、補色の三原色、緑青（シアン）、赤紫（マゼンタ）、黄を用いた減法混色のことを指します。本製品は減法混色を行っており、印刷にはCMYに加え黒インクを併用しています。

● CSV 形式

Comma Separated Value の略。レコード中の各フィールドを、コンマ（,）を区切りとして列挙したデータ形式です。表計算ソフトウェアでは、CSV 形式でのデータ出力、データ入力機能が用意されています。

● DPI

Dot Per Inch の略で、1 インチ（2.54cm）幅に印刷できるドット数を表す単位で、解像度を示します。

● IP フォン

インターネットで使用されている IP（インターネット・プロトコル）技術を利用した電話のことです。

● ISDN

Integrated Services Digital Network の略。デジタル回線による通信サービスです。1 回線でパソコンと電話など一度に 2 回線分使うことができます。

● OS

Operating System（オペレーティングシステム）の略で、パソコンの基本ソフトウェア群です。

● PBX（構内交換機）

Private Branch eXchange の略。企業の構内などで利用する交換機です。内線電話同士の接続や、一般回線への接続などを行います。

● PC

Personal Computer（パーソナルコンピューター）の略で、個人仕様の一般的なコンピューターです。

● PC ファクス

パソコンのアプリケーションで作成したファイルをファクスとして送信する機能です。あらかじめ、PC ファクスの電話帳に相手先を登録しておくことでファクスの宛先を簡単に指定することができます。

● PC ファクス受信

受信したファクスを本製品と接続しているパソコン上で確認する機能です。

● TWAIN

Technology Without Any Interested Name の略でスキャナーなどパソコンに画像を取り込む装置と Presto! PageManager などのソフトウェアを連携させるための規格です。

● USB ケーブル

Universal Serial Bus（ユニバーサルシリアルバス）の略。ハブを介して最大 127 台までの機器をツリー状に接続できるケーブルです。パソコンの電源を入れたままコネクタの接続ができるホットプラグ機能を持っています。

● vCard（vcf 形式）

電子メールで個人情報をやり取りするための規格。電子メールの添付ファイルの機能を拡張して、氏名、電話番号、住所、会社名などをやり取りできます。この規格に対応するアプリケーション間では、受信時に情報が自動的に更新されます。

● WIA

Windows® Imaging Acquisition の略で、スキャナーなどパソコンに画像を取り込む装置と Presto! PageManagerなどのソフトウェアを連携させるための規格です。TWAIN の機能を置き換えるもので、Windows® XP、Windows Vista®、Windows® 7 で標準サポートされています。

# 索引

## 数字



## I



## P



## あ



## い



## か



## く



## さ



## し



## す



## せ



## そ



## た



## ち



## つ



## て



## と



## ね

## は



## ひ



## ふ



## ほ



## ま



## み



## め



## も



## よ



## り



## れ